



静岡大学理学同窓会



ホームカミングデイ & 科学講演会

●静岡大学理学同窓会 科学講演会●

★日時 2026年10月31日(土)★

★時間：14時～ ★場所：理学部A棟2階 大会議室

演題

フォッサマグナの謎を追う

講師 藤岡換太郎(静岡大学防災総合センター客員教授)



フォッサマグナとは日本列島を東西に分断する巨大な地溝(溝状に凹んだ地形)である。明治の初めに来日してお雇い外人教師となり、東京大学地質学教室の初代教授になった若いドイツのナウマンによって発見、命名された。しかし、その正体は150年たった今も(今年が発見以来150年目)専門家の間でも明らかにはされていない。

フォッサマグナは日本列島が現在の姿になる過程で生まれたもので、日本列島の成り立ちを考える上では欠かせない重要な構造である。

フォッサマグナを地質学的に見ると諏訪湖あたりを境に南北でその成因がまったく違うと考えられ、「北部フォッサマグナ」と「南部フォッサマグナ」とに区別されてきた。本講演では北部フォッサと南部フォッサのそれぞれの成り立ちをたどり、フォッサマグナは一体どのような形でできたのかという謎に独自のモデルを用いて真の姿に迫る。



エドムント・ナウマン
(1854-1927)

フォッサマグナを発見
・命名したナウマン



フォッサマグナの露頭

★地学同窓会 総会@ホームカミングデイ★13時15分頃から 同会場にて開催

★理学同窓会 総会★ 13時30分頃から 同会場にて開催

科学講演会ご参加予定の方は、開始時間までお待ちください。